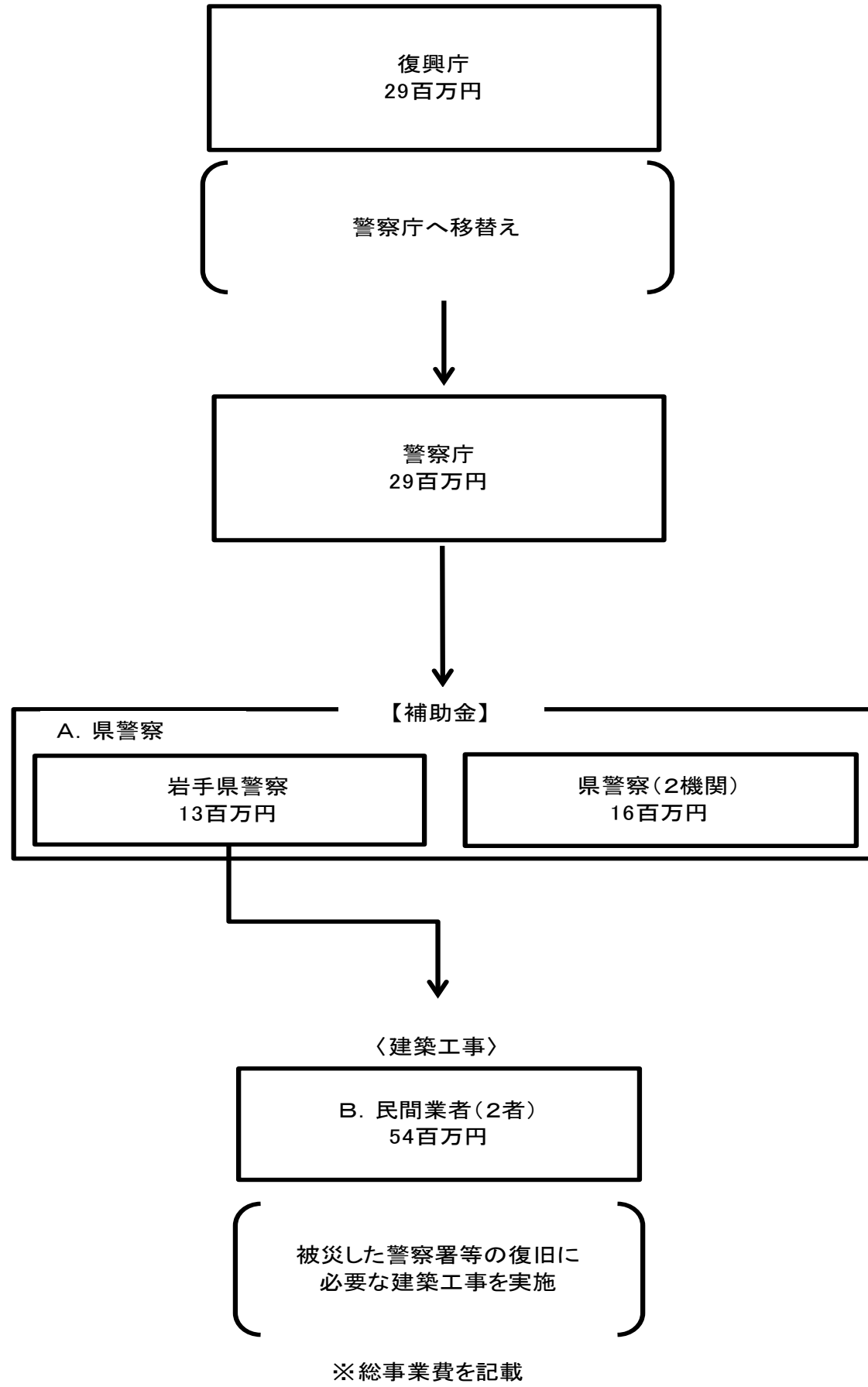


平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)			担当部局	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	・東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第4条 ・警察法第37条第3項・警察法施行令第3条第1項			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により、警察署、交番等の警察施設は甚大な被害を受け、警察活動に支障が生じている状況である。このことから、第一線警察活動及び防災の拠点である警察施設の早急な復旧を図り、被災地における治安維持の機能等を確保するため、警察施設の復旧に要する経費について補助する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成26年度においては、警察署1箇所、駐在所5箇所に対して、災害復旧に要する経費を補助(3分の2)している。							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	133	22	65	666	202	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	24	56	-	
		翌年度へ繰越し	-	▲24	▲56	-	-	
		予備費等	▲88	1	-	-	-	
	計	45	▲1	33	722	202		
執行額	38	0	29	-	-			
執行率(%)	84%	0%	88%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 -年度
	被災した警察施設の復旧	警察施設の復旧事業数	成果実績	施設	3	0	3	-
			目標値	施設	3	3	9	-
			達成度	%	100%	0%	33%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	新たに復旧に着手した事業数	活動実績	施設	3	3	6	-	
		当初見込み	施設	3	3	6	10	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	都道府県警察施設災害復旧費補助金の執行額 /事業数	単位当たりコスト	千円	12,639	-	7,207	66,642	
		計算式	執行額/事業数	37,918/3	-	28,827/4	666,418/10	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	補助金	666	202	災害復旧事業の減(465百万円)				
	計	666	202					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	警察施設の災害復旧に要する経費であり、被災地の一刻も早い復興という観点からの国民のニーズは高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律、警察法及び警察法施行令の規定により、国がその一部を補助することとされている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	東日本大震災からの復興に向けて、被災地における治安維持のための活動は必要不可欠な業務であり、その拠点となる警察施設の復旧事業の優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札を実施し、競争性の確保に努めた。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律、警察法及び警察法施行令の規定に基づき、都道府県警察に要する経費の応分の負担を行っている。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	契約に際しては一般競争入札を促進することとしており、コストの水準は妥当なものである。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	復旧工事に要するものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	情勢に応じて補助金単価等の見直しを検討するなどしてコスト削減を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	不測の事態の発生等により、計画どおり施工できなかった施設があったものの、その他の施設については計画どおり竣工した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりの活動実績を上げている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	復旧された警察施設は、被災地における警察活動拠点として十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	警察施設の早急な復旧を図り、被災地における治安維持の機能等を確保するという観点から、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。			
	改善の方向性	事業の目的である警察施設の復旧に向け、引き続き効率的・効果的な予算執行に努めていく。			
外部有識者の所見					
引き続き、適切な進捗管理、効率的な執行に努めること。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	警察施設の早急な復旧を図り、被災地における治安維持の機能等を確保するという観点から、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	事業の目的である警察施設の復旧に向け、引き続き効率的・効果的な予算執行に努めていく。				
備考					
・平成23年度予算(一般会計)の平成24年度以降への繰越し額 平成24年度 192百万円					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	12
平成25年度	014	平成26年度	022		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	災害復旧に要する経費	13			
計		13	計		0
B.新光建設株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
警察施設費	金石警察署平田駐在所庁舎復旧工事	31			
計		31	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県警察	補助金交付	13	-	-
2	宮城県警察	補助金交付	13	-	-
3	福島県警察	補助金交付	3	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新光建設株式会社	釜石警察署平田駐在所庁舎復旧工事	31	4	-
2	有限会社建匠	大船渡警察署署長公舎復旧工事	23	2	-